



平成16年8月6日

各位

会社名 株式会社 セック
代表者名 代表取締役社長 矢野 恭一
(コード番号: 3741)
問合せ先 取締役経理部長 秋山 逸志
(TEL. 03-5458-7727)

中間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成16年6月10日の決算短信発表時に公表した平成17年3月期中間期(平成16年4月1日~平成16年9月30日)の中間業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の中間業績予想数値の修正(平成16年4月1日~平成16年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	1,408	181	86
今回修正予想(B)	1,225	16	5
増減額(B-A)	183	165	81
増減率(%)	13.0	91.2	94.2
(ご参考) 前期実績(平成16年3月期中間)	1,359	206	111

2. 修正の理由

第1四半期に発生しました売上高計上が第2四半期に延伸した工程遅れプロジェクトは7月末日までに収束し、アフターフォロー工程に移っておりますが、工程遅れに対応の間、当該プロジェクト後続商談の受注活動を停止せざるを得なかったため、プロジェクトの切り替えに伴って現時点では稼働率が低下しており、第2四半期での売上高回復は難しい状況にあります。

現在、徹底した経費削減なども加えて第1四半期業績不振の挽回に努めておりますが、第2四半期には本社スペース拡張に伴う費用の発生も計画されており、まことに遺憾ながら中間業績予想数値の下方修正をすることといたします。

今後は、7月に発表いたしましたBMLブラウザ関連商談も加わって全社的に商談量に恵まれている中で、当社優位分野に集中した案件受注の拡大に努め、また稼働率を低下させないきめ細かな製造部門運営を図るなどで売上高の増大を図る一方で、工程遅れ再発防止策の全社展開を図り、また経営の効率化と経費削減に努め、中間業績不振の挽回に最大限の努力を傾注して参ります。

なお、通期業績予想につきましては、業績予想値を修正いたしません。

(注意事項)

上記に記載した予想数値は、本資料発表時現在において当社が入手可能な情報に基づいて算定しており、実際の業績は、今後様々な要因により当該予想と異なる場合がありますのでご承知おきください。

以上